

# ウメのせん定について

和歌山県 果樹試験場うめ研究所 研究員 網木海成



## はじめに

1 1月に入るとウメは落葉を始め、根の活動が弱まり休眠期に入ります。

整枝・せん定は、①翌年の新梢伸長を旺盛にして樹勢維持を図る、②着花調整をして充実した結果枝をつくる、③日当たりを確保する、④作業性を改善することで、連年安定生産や高品質果実生産を行うことを目的として行います。次年度の管理に向けての重要な作業であり、せん定作業は年内の蕾がふくらみ始める前までに終わらせるのが理想ですので、計画的に進めてください。

## ウメ樹体の特徴

一般的にウメの枝では頂芽優勢の性質が強く、先端部の数芽が強く伸長する性質があります。また、光の要求量が多く、日陰の枝は枯死しやすいといった特徴があり、適切なせん定を行わないと結果層が上部のみとなり、収量の低下や作業性の悪化を招きます。

ウメの結果習性として主要品種の「南高」では15cm以下の結果枝（中短果枝）によく着果する性質を示します（写真1）。

これらの特徴を踏まえて、効果的なせん定を行ってください。



写真1 「南高」の着果の様子

## せん定の種類について

（写真2）

目的に応じて①切り返しせん定と②間引きせん定を使い分けてください。また、切り返しの強弱によって新梢の伸長が異なる点に留意してください。

### ①切り返しせん定

強く切り返すことで、強い新梢が伸びる一方、花芽は着きにくくなります。骨格となる枝の育成や弱った枝の勢力回復を目的に行います。

中程度の切り返しを行うと、先端の2、3芽が強く伸長する一方、下部には弱い枝が発生し、花芽が着生しやすくなります。

弱く切り返すと次年度に伸長する枝が弱くなり、樹勢は弱まります。

### ②間引きせん定

不要な枝を基部から切ることで、残った枝に花芽や結果枝が付きやすくなり着果を促す一方で、樹勢は弱まります。

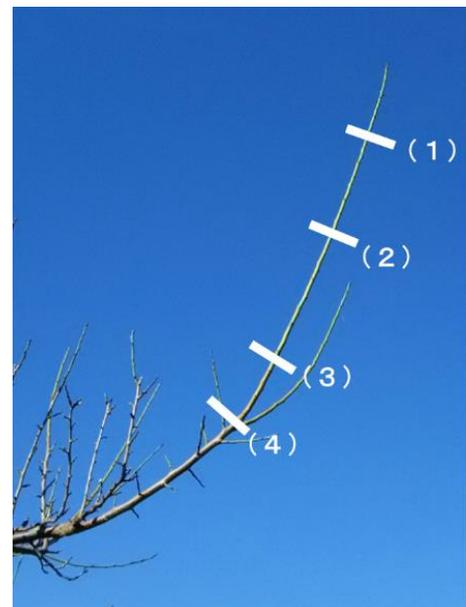


写真2 切り返し程度と間引き部位の目安

- (1) 切り返し程度弱：枝の先端数芽のみ切り返す
- (2) 切り返し程度中：枝の基部から1/2以上で切り返す
- (3) 切り返し程度強：枝の基部から1/3程度で切り返す
- (4) 間引き：枝の基部から切除する

## せん定方法について

①幼木期～若木期と②成木期でせん定の目的や方法が異なりますので、以下に留意点を述べます。

### ① 幼木期～若木期のせん定（図1、写真3）

主枝・垂主枝の確立による骨格づくりに主眼をおいてせん定を行います。

- ・主枝は2～3本とし、車枝ならないようにしてください。

- ・主枝の地表面に対する発角度は、50～60度とし、主枝間の角度は120度としてください。

- ・垂主枝は、主枝の分岐点から1m以上離して設定し順次間隔を1m以上あげ、適切な新梢があれば1年設定を遅らせてください。

- ・主枝・垂主枝の先端は将来、果実の重みで開張してくるので1本にして立ち気味にまっすぐ伸ばしてください。先端の新梢の競合枝は間引き、毎年40～50cmの長さに切り返して強い枝が発生するようにしてください。

- ・主枝・垂主枝の背面から発生した強い徒長枝は樹形を乱す要因ですので間引いてください。



写真3 若木の骨格づくりの様子

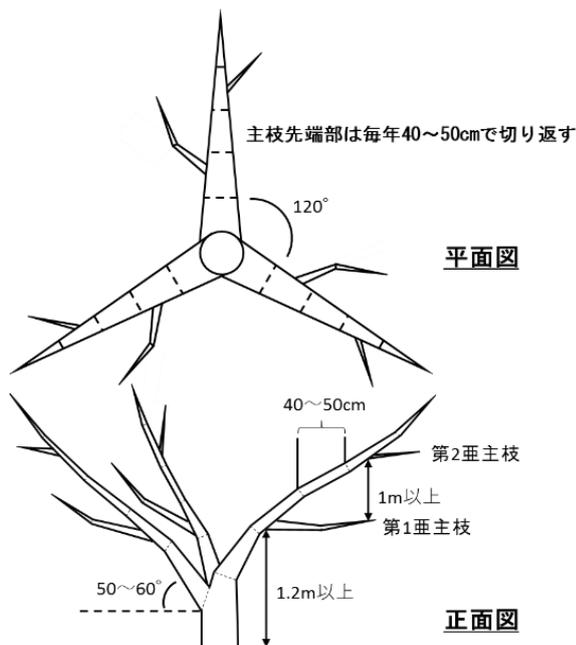


図1 開心自然形の目標樹形

### ② 成木期のせん定（図2、写真4）

樹勢維持、収量安定、高品質果実生産を目的としてせん定を行います。

- ・主枝・垂主枝の先端を決め、主枝・垂主枝・側枝のすべてで三角形をイメージして枝どうしが重ならないように配置します。

- ・主枝・垂主枝の先端部は、果実の重みで少しずつ下垂してくるので上向きの枝まで切り戻して立ち上げ、樹勢維持に努めてください。

- ・太い枝を少なくし樹冠内部に日光をあて緑枝の発生を多くし、2～3年枝の確保に努めてください。

- ・結果枝の切返しを多めに行い、色の黒い老化した4年枝以上の側枝は間引き、若い緑枝に更新してください。

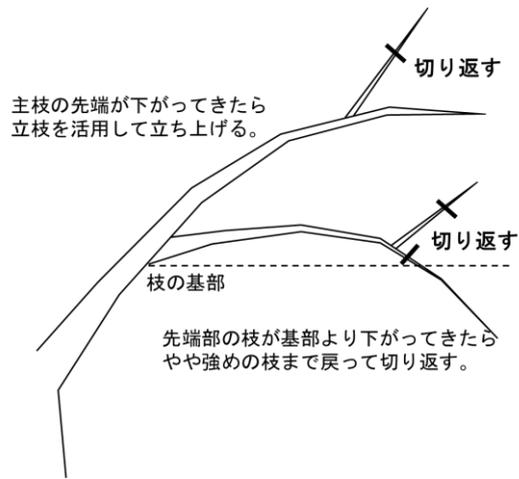


図2 成木の切り返しせん定



写真4 成木のせん定イメージ

### その他の注意点

・黒星病や枝枯れ病、こうやく病の病斑がみられる枝については翌年度以降の感染源になるため冬のせん定時に切除してください（写真5）。



写真5 各種病害の病斑（上：黒星病、中：枝枯れ病、下：こうやく病）

- ・授粉樹に隣接した樹は、着果過多になる場合がありますのでせん定量を多めにし、花芽数を調整してください。
- ・ウメの経済寿命は25～30年といわれています。樹勢が低下している樹では強めのせん定を行い、10a 当たり収量が1 t 未満に減少してきたら、計画的に改植を実施してください。